

令和5年度 障がい者支援施設南富良野こざくら園事業実績報告

第1 総括

障がい者支援施設南富良野こざくら園は、安心、安全な環境のもとで、本人主体となるようご利用者一人ひとりの自己決定を尊重し、権利擁護を推進しました。

新型コロナウイルスなどの感染症予防については、行動指針に準じた基本的な感染対策を徹底し、ご利用者のサービス向上を図るとともに、様々な状況に即応できるように努めてまいりましたが、令和6年1月に施設内で新型コロナウイルスの集団感染が発生し、ご利用者、職員合わせて44名が罹患しました。

また、ご利用者に対して、よりきめ細かな支援を提供できるよう「気づき力」の向上と職員間のコミュニケーションを活性化し、報告、連絡、相談を密にすることで、ご利用者の幸福な生活の実現と風通しの良い職場づくりに努めました。

近年の課題である人材確保について、令和5年7月に法人本部と連携して特定技能実習者を受け入れました。その他、大学、専門学校などへの働きかけも強化し、職場環境の整備を推進しました。

なお、令和5年度は以下の項目を重点的に取り組みました。

1 人権擁護と虐待防止の徹底

ご利用者の権利擁護と虐待防止の徹底を図るために各種取り組みや研修などを通して、職員一人ひとりの意識の向上を図り、「見て見ぬふり」をせず、お互いにけん制し合うことで、不適切行為がないように努めました。また、ご利用者の言葉を傾聴し、寄り添うことで早期に不安や不満などを解消し、ストレスのない生活環境の提供に努めました。

2 特定技能外国人職員の受け入れ

法人本部と連携して特定技能外国人職員を受け入れ、言語や慣習の違いなどに配慮し、仕事や生活面に対するサポート体制を整備しました。

3 感染症予防対策の徹底

新型コロナウイルスをはじめ様々な感染症に対して、ご利用者には十分説明をしたうえで予防対策の協力を依頼し、職員は行動指針に基づき、感染症を持ち込まないための意識向上を図りました。また、感染症対策マニュアル、BCPの内容を十分に理解し、変化する対策に応じて、その都度更新を進めました。

4 事故防止のリスクマネジメント

ご利用者の高齢化や身体機能の低下に伴い、転倒や誤嚥などのリスクが高まっている傾向から、ご利用者一人ひとりが安心・安全な生活を送れるように、施設内研修をはじめ、ひやり・はっとの検証、職員への指導、教育の徹底などスキルの向上を図りました。また、職員一人ひとりの「気づき力」の向上と「ひと言掛け合う」習慣化を図り、ご利用者の事故防止に努めました。

5 意思決定支援の推進

ご利用者の意思や人格を尊重し、常にご利用者の視点、立場に立ったサービスの提供に努めました。また、ご利用者一人ひとりが、日常生活の様々な場面で自らの意思が反映された生活を送れるように自己決定を尊重し、「本人主体の支援」を構築しました。

6 風通しの良い職場環境

職員間の「絆」と「連携」を深め、誰もが働きやすい風通しの良い職場環境づくりを推進し、チーム力の強化を図ることで、志の高い人材育成ができるように努めました。また、日常的に職員間のコミュニケーションの活性化を図り、明るく活気ある職場環境づくりに努めました。

第2 運営組織

(1) 職員配置状況 (令和6年3月31日現在)

区分	園長	サービス 管理責任者	総務課	支援課	臨時	短時間	計
男性	1	1	1	10	1	1	15
女性			1	7		6	14
計	1	1	2	18	1	7	29

第3 ご利用者の状況 (令和6年3月31日現在)

(1) 各棟の男女別状況

区分	東棟	西棟	計
男性	25		25
女性		13	13
計	25	13	38

(2) 年齢別

区分	~20 未満	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70 以上	最高 年齢	最小 年齢	平均
男性	1	2	4	3	13	1	1	83歳	19歳	46.3歳
女性	0	0	5	2	3	1	2	72歳	33歳	48.6歳
計	1	2	9	5	16	2	3			47.4歳

(3) 障がい別

区分	てんかん	自閉傾向	統合 失調症	身体 障がい	ダウン症	視覚 障がい	聴覚 障がい	言語 障がい	体幹機能	心臓 疾患
男性	10	19	0	1	0	0	0	7	2	0
女性	3	2	3	1	2	0	0	2	1	2
計	13	21	3	2	2	0	0	9	3	2

(4) 障害支援区分

支援区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
男性	0	0	0	1	1	23	25	5.88
女性	0	0	0	0	4	9	13	5.69
計	0	0	0	1	5	32	38	5.82

第4 事業と運営方針

1 事業の内容

(1) 生活介護事業 定員：40名（在籍数：男性25名、女性13名）

ご利用者が日中に、日常生活又は社会生活を営むことができるよう、食事の支援・入浴・排せつ・洗濯及び生活全般に関する相談、日中活動並びに創作的活動の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行いました。

(2) 施設入所支援事業 定員：40名（在籍数：男性25名、女性13名）

ご利用者に対し、夜間などにおける入浴・排せつ・食事の支援などを行うとともに、その他の便宜を適切かつ効果的に行いました。

(3) その他の事業

短期入所事業	各事業のご利用はありませんでしたが、関係機関へ情報提供を行いました。
日中一時支援事業	

2 運営方針の内容

(1) 総務課・総務係

ご利用者の生活環境向上に伴う施設の適正な環境保全と、安定した施設経営に努めました。

施設運営の強化	障がい福祉サービスの基準を遵守し、介護給付費における各種加算などの申請を適正に行うとともに、今年度より新たに取得した重度障害者支援加算においては、適切な書類などの作成、整備に努め、収入の増額に向けた取り組みを推進しました。ご利用者の入退所の状況に応じて、迅速に各関係機関と連携を図り、定員の充足に努めました。また、開設から30数年が経過しており、施設内の老朽化及び各箇所の修繕が年々増えている状況があるため、今後の施設としての中長期計画も踏まえ、計画的な予算執行に努めるとともに、近年の電気料などの大幅な値上がりや物価の高騰により、ご利用者に不利益にならない程度で経費の節約を行い、法人全体を通して経営の安定化に繋がるように努めました。
施設等保全管理	ご利用者の生活環境と生活支援向上並びに職員の労働環境改善のため、園舎管理と備品などの計画的な修繕、更新を適宜行いました。 (主な事業) (1) 多目的室内居室改修工事 (2) スチームコンベクション購入
栄養管理	給食委託業者と連携を図り、衛生管理の向上と新型コロナウイルス感染症を含めた感染症予防対策の徹底に努めました。また、疾病などによるご利用者の生活機能及び健康状態に対して、栄養上の課題やリスクの洗い出しを行い、それを基に栄養ケアマネジメントを実施し、ご利用者の生活機能、健康状態の維持及び改善に努めました。自然災害などによる非常災害に備えて、非常食献立の作成、在庫管理などを適正に行い、必要に応じた非常食の更新を図りました。
メニューの多様化	ご利用者個々人の希望が反映されるよう定期的にご利用者を対象とした嗜好調査を実施し、嗜好に配慮した献立作成に努めました。新型コロナウイルス感染症により施設外での会食などが難しい状況にあるため、年間を通して選択メニューや行事食の充実を図りました。また、施設内で行える屋外での会食提供を模索し、ご利用者が季節感や満足感、食事を通して楽しみを得られるように努めました。

職員の健康管理	定期健康診断または生活習慣病検診を実施し、職員の健康保持を推進しました。職員の健全な心身を保つために、働き方改革に基づき計画的な有給休暇の取得や一部業務の簡素化を図りました。また、職員個々人の業務に対する意識改革を進め、健康で活気ある職場づくりに努めました。
防災・防犯体制の整備	火災や大規模な自然災害の発生に備え、避難訓練を計画的に実施し、ご利用者及び職員の意識の向上に努めました。非常用自家発電設備においては、停電の際に確実な運転がなされるよう、専門業者に依頼し定期保守点検を行いました。防犯体制については、町内の駐在所との協力体制を図り、ご利用者の安全確保に努めるとともに、防犯訓練や講習会を通して、不審者侵入時の対応方法などについて職員の意識、スキルの向上に努めました。非常災害備品や防犯備品などについては、適正に管理し、必要に応じて適宜整備、更新を進めました。

(2) 生活支援課・生活支援係

安心、安全な環境のもとで、本人主体となるようご利用者一人ひとりの自己決定を尊重し、権利擁護を推進しました。また、よりきめ細かな支援を提供できるように「気づき力」の向上を図り、ご利用者の幸福な生活の実現に努めました。

個別支援計画の作成	一人ひとりの障がいや、ニーズに応じた適切な支援サービスを提供するために、ご利用者・ご家族の意向に沿いながらストレングスに着目した個別支援計画を作成しました。また、アセスメント・モニタリングを定期的に行い、日常生活における現状や課題などを総合的に考慮し、安心・安全な生活環境の提供に努めました。
生活支援の充実	ご利用者の特性を考慮し、個々のペース、人権を尊重したうえで生きがいを感じられる生活支援の充実を図りました。食事・入浴・排せつなどの支援には個別の配慮を行うとともに、潤いのある支援の提供に努めました。
強度行動障がい者の支援	ご利用者個々の特性について十分に理解し、専門基礎研修修了者の専門的知識と支援スキルを活かし、障がいの重いご利用者が安心、安全で幸せな暮らしを送ることができるように努めました。
高齢者支援と介護技術の向上	メディカルチェック（健康度、体力）を常に把握し、食事・健康面に配慮した安心、安全な生活環境に努めました。また、ご利用者の高齢化が進む中、急なADLの低下にも対応できるように、職員の介護における知識、技術の向上に努めました。
権利擁護の推進	北海道障がい者条例、障害者虐待防止法、障害者差別解消法などの関係法令を遵守し、虐待防止を推進しました。職員は「見て見ぬふり」をせず、お互いにけん制し合うことで、人権侵害が生じることのないように努めました。また、「ひやり・はっと事例」の検証を行い、有効的な支援対策や改善策を講じ、リスクマネジメントに努めました。

意思決定支援の推進	ご利用者の意思や人格を尊重し、常にご利用者の視点、立場に立ったサービスの提供に努めました。また、ご利用者一人ひとりが、日常生活の様々な場面で自らの意思が反映された生活が送れるように自己決定を尊重し、「本人主体の支援」を構築しました。
実習生とボランティアの受け入れ	諸学校などの学生実習を受け入れ、施設の役割や仕事の内容について情報提供を行いました。
感染症予防対策の徹底	新型コロナウイルスをはじめ様々な感染症に対して、ご利用者には十分説明をしたうえで予防対策の協力を依頼し、職員は行動指針に基づき、感染症を持ち込まないための意識向上を図りました。また、感染症対策マニュアル、BCPの内容を十分に理解し、目まぐるしく変化する対策に応じて、その都度更新を進めました。
研修会の実施・参加	オンラインでの研修が主流となっている中、道社協や各協会が主催する外部の研修会へ可能な範囲で参加し、職員のスキル向上を図りました。また、3密を避けるなど感染予防に関して十分な対策を行ったうえで内部研修会を実施し、ご利用者支援に必要な知識や技術の習得を図りました。
人材育成と資質向上	人事考課制度やスーパービジョンを活用した人材の育成に取り組むことで、支援サービスにおける知識や技術の向上を図るとともに職員個々の資質向上を図りました。また、資格取得などを含めた自己研鑽における意識の醸成を図りました。
風通しの良い職場環境	職員の「絆」「連携」を深め、誰もが働きやすい風通しの良い職場環境づくりを推進しました。また、仕事のみならず、生活をしていくうえで職員間のコミュニケーションの活性化を図り、明るく活気ある職場環境づくりを推進しました。
外国人福祉職員の受け入れ	法人本部と連携して特定技能外国人を受け入れ、技術を取得しやすい環境づくりに努めました。

① 生活介護事業（生活支援）

日常生活がより充実したものとなるよう、日々の暮らしに配慮しました。整容面や居住空間などの衛生面にも気を配り、自己決定を基に個々のニーズに応じた環境の整備を行いながら、生きがいを持てる生活の実現に向けた福祉サービスの提供に努めました。

◇生活支援課◇

《自立した日常生活又は社会生活を営むことができるための支援》

生活支援	食事、歯磨き、服薬、衛生、排せつ、整容、入浴、居室内清掃、衣類整理などのADLの向上を図るとともに、日常生活における情緒の安定などを図りました。
個室化の充実	棟内の居室内空間への配慮及び環境整備に努めました。
定期巡回	体調確認、行事連絡、話題提供などのコミュニケーションを支援しました。
行動障がい者に対する支援	ご利用者個々の特性と施設内環境の関係性に着目し、情緒の安定に繋がる個別支援を提供しました。

高齢者に対する支援	身体機能などが低下している高齢者に対して、適切な支援・介護・見守りなどを行いました。
健康管理	体調確認における検温、必要に応じた血圧測定を実施し、健康面の変化にいち早く気づけるように努めました。
食育環境づくり	個々の食育に関する意欲増進と、ゆったりとした食事が行えるように食事環境への配慮を行いました。
施設イベント	屋外での各種イベント、スポ・レク交流会、合同花火大会、ふれあいフェスタ、ハロウィーン、クリスマス会、旅行、外出行事など、感染予防に留意しながら楽しんでいただける内容を企画、実施しました。
町内行事	感染症予防対策に伴い、不特定多数が集まる行事への参加は中止しました。

◇活動支援係：日中活動◇

個々の活動能力やニーズに応じた日中活動を提供し、生産活動や創作活動を実施しました。また、活動を通じて体力の増進と情緒の安定を図り、生きがいと達成感をえられるように支援しました。

《生産科～生産活動》

むぎわら班	農産物生産活動（畑作業、除草、豆磨き、豆選別）、除雪などを実施しました。
あおぞら班	災害備蓄用パン缶拭き・検品、創作的活動、販売物の制作、花壇整備などを実施しました。
いんさつ班	封筒、諸台帳、名刺、年賀状、広報誌、チラシなどの印刷を実施しました。

《創作科：なごみ班》

創作活動	町内展示会（障がい者週間記念事業）、道北あーと展、施設内展示会に向けた創作品製作などを実施しました。
演芸活動	スポ・レク交流会、ふれあいフェスタで「よさこい演舞」を披露しました。

《創作科：なごみ班（個別活動）》

生きがい活動	ウォーキング、レクリエーション、音楽活動などを実施しました。
体力作り	軽運動、日光浴、散歩、体操、フロアカーリングなどを実施しました。
創作活動	園内装飾づくり（壁画や季節にあった装飾）を実施しました。
自立課題活動	障がい特性に合わせた自主制作グッズを使用した活動を実施しました。

◇生活支援課：健康支援係◇

ご利用者の健康面に配慮し、協力医療機関と連携を図り、疾病の早期発見や早期治療に努めました。また、年間計画に沿った保健衛生と健康支援を行い、心身共に健やかな生活を送ることができるよう支援しました。

定期通院	各診療科目における定期通院、必要に応じた通院を行いました。
各種検診	歯科検診、健康診断、胃がん検診、婦人科検診などを行いました。

感染症予防対策	感染症マニュアルやオゾン発生器の活用と施設内ゾーニングによるインフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルスなどの感染症予防対策を行いました。令和6年1月に新型コロナウイルスの施設内集団感染が発生しました。
口腔ケア	摂食や嚥下障がいによる誤嚥性肺炎防止の意識向上を図りました。また、肺炎や誤嚥を防ぐことを目的に、嚥下調査の実施や正しい摂食と嚥下法や口腔ケアについて学びました。
緊急時の対応	緊急時は医療連絡網に沿い、迅速且つ的確な判断と対応を行いました。
その他	必要に応じた処置、服薬管理、インフルエンザ、新型コロナウイルス予防接種、各種申請などを実施しました。

◇生活支援課：地域移行係◇

社会生活の実現に向けて、地域生活移行に必要なスキルの取得を支援しました。ご利用者個々に必要なスキルの習得を目指すとともに、外出や調理実習などの具体的な地域生活移行支援を実践しました。

施設外支援	地域の事業所において、就労に繋げるための支援及び事業所巡回訪問を実施しました。
施設内支援	施設内で施設外支援に必要とするスキル習得を目的とした支援を行いました。
地域生活移行支援	地域生活移行に必要なスキル習得のため、調理実習、買い物外出訓練を行いました。
その他	12月3日から9日までの期間で障がい者週間事業に係る各種事業を実施しました。

◇ご利用者自治会活動の支援（虹の会）◇

日常生活に必要な意見交換や情報提供を行い、ご利用者主体の自治会活動に繋げるため、主体的に各種事業や計画立案などができるように側面から支援を行いました。また、ご利用者の地域貢献活動を実施し、障がい者の社会参加の機会拡充に努めました。

事業・行事の立案	事務局がサポートした中で役員が中心となり、総会、余暇行事などの企画、立案を行いました。
情報提供	ポスター、資料づくりを行い、ご利用者への情報提供を行いました。
自動販売機	自動販売機を活用し、ジュースの販売を行いました。
各種委員会	定期的に役員会を実施しました。
誕生会	誕生会プレゼントの助成を行いました。
施設内衛生活動	清掃チェック、感染症予防啓発活動を実施しました。
地域貢献活動	町内除雪ボランティアに参加しました。
協会本人部会	北・北海道知的障がい福祉協会「すずらんの会」にオンラインで参加しました。
生活向上	役員が中心となり余暇の立案と助成を行いました。

◇「南富良野こぞくら園家族の会」の事務局支援◇

「南富良野こぞくら園家族の会」との相互連携を図り、コーヒーショップ「りとる」の円滑な営業や各種事業の推進に努めました。また、各種行事への助成や事務協力を進めました。

② 施設入所支援事業

住まいの環境において、健康で主体性のある生活を送ることができるよう適切な支援を行い、生活の主体者であることを実感できる支援に努めました。

日常生活での支援	起床、就寝、食事、歯磨き、服薬、衛生、排せつなどを支援しました。
個室化の充実	棟内の居室内空間への配慮及び環境整備に努めました。
就寝前支援	寝具や衣類交換、トイレ誘導などを支援しました。
職員による定期巡回	定期巡回を行う中で、体調確認、安全確認などを支援しました。
行動障がい者に対する支援	ご利用者個々の特性と施設内環境の関係性に着目し、情緒安定に繋がる個別支援を提供しました。
高齢者に対する支援	身体機能などが低下している高齢者に対して、適切な支援・介護・見守りなどを行いました。
健康確認	体調確認における検温、必要に応じた血圧測定を実施し、健康管理に努めました。

3 職員の研修、研究体制

○関係機関の主催する各研修会などの参加は次のとおりです。

研修事業名	参加職員	参加延人数
日本・北海道知的障がい福祉協会	園長・支援員	2人
北・北海道知的障がい福祉協会	園長・サビ管・支援員	4人
その他	園長・サビ管・支援員	6人

○施設主催による各研修会は次のとおり実施しました。

研修名	開催回数	参加職員
新任者研修	合同研修1回 (4月) こぞくら園内部研修会2回 (4月、5月)	令和5年度採用職員
内部研修会	合同研修4回 (9月、11月、12月2回) こぞくら園内部研修1回 (11月)	63名(全職員対象)
階層別研修	5回 (5月、7月、11月、2月、3月)	20名(全職員対象・階層別)

令和5年度 主要事業等報告書

【南富良野こざくら園】

1. 事業実施概要

月	日	期 間	内 容
4月	1日(土)		令和5年度辞令交付式、虹の会総会
	5日(水)		北海道知事・議会議員選挙期日前投票
	13日(木)		ご利用者、職員前期健康診断
	21日(金)		南富良野町議会議員期日前投票
	22日(土)		緑陽台歯科検診
	24日(月)		理容日
	25日(火)		4月誕生会
	26日(水)		一味園喫茶「りとる」
5月	3日(水)		余暇行事「ドライブ」
	4日(木)		余暇行事「鯉のぼり制作」
	5日(金)		余暇行事「映画鑑賞」
	9日(火)		余暇行事「イースターエッグ」
	16日(火)		こざくら園家族の会役員会
	17日(水)		観桜会
	23日(火)		法人決算監査
	24日(水)		5月誕生会
	25日(木)		からまつ園、こざくら園合同火災避難訓練
	26日(金)		吉岡経営センター研修「新任フォローアップ研修」
	31日(水)		一味園喫茶「りとる」
6月	1日(木)		特定技能者 デシ・ハリンダ こざくら園人事異動
	12日(月)	13日間	旭川福祉専門学校学生実習開始
	28日(水)		一味園喫茶「りとる」
	29日(木)		障がい関係事業所合同防犯訓練
7月	1日(土)		第42回スポ・レク交流会
	3日(月)、6日(木) 10日(月)、13日(木)		新型コロナウイルスワクチン接種(ご利用者、職員)
	11日(火)		特定技能実習生2期生入国
	13日(木)		特定技能実習生2期生来町
	15日(土)	13日間	経専北海道保育専門学校学生実習開始
	19日(水)		熱夏祭
	20日(木)		特定技能実習生2期生辞令交付式
	24日(月)		町外外出(富良野方面)、理容日
	25日(火)		7月誕生会
	26日(水)		一味園喫茶「りとる」
	27日(木)		吉岡経営センター研修「日考課者研修」
	29日(土)		かなやま湖湖水祭り
	31日(月)		北都プロレス観戦
8月	14日(月)	4日間	夏季一時外泊(～17日) 余暇行事「コーヒーゼリー提供、DVD鑑賞」
	15日(火)		余暇行事「バドミントン、卓球」
	16日(水)		日中想定火災避難訓練、余暇行事「縁日」
	17日(木)		余暇行事「DVD鑑賞」
	18日(金)	13日間	経専北海道保育専門学校学生実習開始
	22日(火)	2日間	南富良野高校インターンシップ学生2名(～23日) 七夕祭

	24日(水)		8月誕生会
	25日(金)		町外外出(帯広方面)
	28日(月)		理容日
	30日(水)		一味園喫茶「りとる」
9月	5日(火)		富良野保健所給食施設指導監査
	16日(土)		ふれあいフェスタ
	19日(火)		町外外出(帯広方面)
	20日(水)		胃がん検診
	21日(木)		9月誕生会
	25日(月)		理容日
	26日(火)		障がい関係事業所合同水害避難訓練
	27日(水)		一味園喫茶「りとる」
	28日(木)		内部研修「接遇マナー研修」
10月	1日(日)		南富良野大乘会職員交流会
	6日(金)		町外外出(帯広方面)
	11日(水)		紅葉祭、夜間火災避難訓練
	12日(木)		三番館出張販売
	13日(金)		網走養護学校施設見学
	16日(月)	13日間	旭川福祉専門学校学生実習開始(2名)
	18日(水)		エキノコックス検診
	19日(木)		インフルエンザワクチン接種① 町内飲食店テイクアウト弁当
	25日(水)		一味園喫茶「りとる」
	26日(木)		10月誕生会、インフルエンザワクチン接種②
	30日(月)	13日間	旭川市立大学短期大学部学生実習開始(2名) 余暇行事「ハロウィンイベント」
11月	2日(木)		後期健康診断
	9日(木)		新型コロナウイルスワクチン接種①
	13日(月)		法人内部研修会
	14日(火)		道北知的障がい福祉協会主催「すずらんの会」
	15日(水)		乳がん子宮がん検診
	21日(火)		法人内部研修会「虐待防止、権利擁護」
	27日(月)		理容日
	28日(火)		11月誕生会
	30日(木)		新型コロナウイルスワクチン接種②
12月	3日(日)		障がい者週間(～9日)
	5日(火)		表敬訪問、ご利用者向け権利擁護研修
	6日(水)		法人定例監査
	13日(水)		一味園喫茶「りとる」
	14日(木)		普通救命講習
	18日(月)		法人内部研修会「ハラスメント」
	20日(水)		クリスマス会
	21日(木)		町内飲食店テイクアウト弁当
	30日(土)		余暇行事「しめ飾り」
	31日(日)		大晦日
1月	1日(月)		元旦、初詣
	2日(火)		余暇行事「書初め」
	3日(水)		余暇行事「映画鑑賞」
	6日(土)	4日間	冬季一時外泊(～9日)
	13日(土)	23日間	新型コロナウイルス感染症施設内感染発生 (～2月5日)

2月	5日(月)		新型コロナウイルス感染症健康観察期間終了
	13日(火)	11日間	札幌こども専門学校学生実習開始
	15日(木)		法人研究発表会
	19日(月)		理容日
	21日(水)		こぞくら冬まつり
	22日(木)		除雪ボランティア
	28日(水)		1、2月誕生会、一味園喫茶「りとり」
	29日(木)		吉岡経営センター人事考課者研修「リーダーシップ」
3月	4日(月)		余暇行事「ひな祭り会」
	6日(水)		法人定例監査
	11日(月)	11日間	札幌こども専門学校学生実習開始
	13日(水)		お疲れ様会
	15日(金)		法人内部研修会「人事考課制度」
	19日(火)		一味園喫茶「りとり」
	20日(水)		3月誕生会
	29日(金)		退職者辞令交付